

学校だより  
長泉小学校

☆学校教育目標 「自ら考え 高め合いながら 伸びる子」

◎重点目標＝キーワード  
重点生活目標

「思いをもちかかわり合う」  
「あいさつがひびき合う学校・地域」

# あすなろ

No. 9 令和元年 10 月 2 日

## 「未来につながる、本物の力を育てる」

校長 日吉美矢子

コスモス、<sup>ききょう われもこう</sup>桔梗、吾亦紅。秋の草花が美しく咲き誇り、朝晩には秋の訪れを感じられるさわやかな季節になりました。後期は 10 月 15 日からスタートしますが、次の学年・学校につながる大切な学期です。後期も、子供たちの思いと笑顔があふれ、一人一人の更なる成長が感じられる素晴らしい学期になりますように、みんなで力を併せて頑張っていきたいと思ひます。保護者・地域の皆様の御理解と御協力をよろしくお願ひいたします。

さて、最近、偶然、テレビをつけたら、「ひとモノガタリ あのタックルの先に～ 日大アメフト 学生たちの16か月」というNHKの番組を行っていました。「あの問題から部はどうなったのだろう」「体制は変わったのだろうか。」と私自身とても興味があり、番組を見ました。その中では、監督やコーチに依存していたチームから、自立したチームになるまでの学生たちの戸惑いや苦悩、奮闘の記録が赤裸々に描かれており、私自身も考えさせられる点がありました。



これまで「監督やコーチは絶対」と考え、盲目的に従うことしかしてこなかった学生たちにとって、自分たちの力でチーム作りをするということは、目標は共有できていても、実践することはそう簡単ではありませんでした。なぜなら、自主性がテーマでありながら、自分で考えて判断するという力を付けてこなかったからです。課題を解決する手立ては、自分たちが経験した罰というやり方しか思い浮かばずに、選手が自発的に「～したい」と思える心をつくることができないのです。

その様子を見た時に、日々の生活の中で、子供たちにどんな力を付けるかは、とても大事であることを改めて実感しました。

子供たちは、学校や家族の生活の中で、様々な力を身に付けています。将来自立し、職業に就き、人とうまくかわり、何より幸せな生活を送れるために、自立心や協調性、また、我慢する心など、多くの力を育成していくことが必要です。学校では、これからも、自分の思いをもって日々を過ごすことやたとえ失敗しても、自分でよく考え、自分の力でやること、また、人と協力し合ったり、助け合ったりする喜びを感じられる教育活動を大切にしていきたいと思ひます。そんな経験をたくさん積むことが、目に見えない自分の力となるはずです。各家庭ではどうでしょうか。日々、生活していく上で、友達のことなど、きつとうまくいかないことで悩んだり考えたりすることでしょう。そんな時に、子供の悩みや気持ちに寄り添い、自己解決できるように、いっしょに考えたり、ヒントを与えたりすることは、とても大事なことだと思ひます。しかし、親が、先回りをして、子供の目の前にあるハードルを全部取り去ってしまったらどうでしょう。次に何か課題に会った時に、どう解決したらよいか戸惑うことでしょう。家庭でも、自分のことは自分でやることや、家族の一員として、小さな役割を果たすことなども大事にしたいです。

子供たちには、今後も出会うであろう様々な課題に、真摯に向き合い、人と助け合い、自分自身でそれを解決し、たくましく生きていく力を、学校と家庭で協力し、付けていきたいです。

日大アメフト部は、問題を罰で解決することを止め、キャプテンの発案で、「全員キャプテン制」を取り入れました。すると、部内でこうしようと呼び掛けたり、お互いに注意仕合ったりする声が増え、自主性が生まれ結束力が高まり始めました。

後期のスタートである 10 月。再度、気持ちを引き締め、保護者・地域の皆様と共に、未来を担う子供たちを、大きく育てていきたいと思ひます。



## <PTA奉仕作業ありがとうございました>

8月31日（土）に、5年生保護者、PTA本部役員、PTA評議員の皆様と教職員で、奉仕作業を行いました。（保護者と一緒に参加した児童もいました。）総参加人数は、200名近くとなりました。

今年度は暑さを考慮し、午前8時からの1時間を作業時間としました。曇りがちで終了近くには小雨も降る中で、側溝の土砂上げ、草取りや樹木の剪定をしていただきました。翌日、教職員で草ごみを清掃センターへ運んだところ、軽トラック3台で2回運ぶ量の袋がありました。

大勢の方々にお集まりいただき、熱心に作業をしていただいたおかげで、普段、手が行き届かないところまで、見違えるほどきれいになりました。ご参加していただいた皆様、ありがとうございました。



## <長泉町敬老会式典にての作文朗読>

9月8日（日）、ベルフォーレにて長泉町敬老会式典が開かれました。その式典の中で、長泉小3年神戸武佐士さんと4年椎田理歩さんが、「おじいちゃん・おばあちゃん」へ向けての作文を朗読しました。二人とも、祖父母への優しい気持ちが溢れる素敵な内容で、会場が温かい雰囲気になりました。



## <あいさつ運動が広がっています>

今年の児童会のスローガンは、「はじめのいっぽは、あいさつから」です。これは、1年生を迎える会で、全校に向けて児童会委員長から発信されました【下部左の写真】。これを受けて、生活向上委員会は、中休みに校内で幟（のぼり）を掲げてあいさつを呼びかけてきました。そして、夏休み明けからは、児童会の子どもたちが、登校時に校門にて、「おはようございます」の声かけをスタートさせています【下部中央・右の写真】。まさに、学校生活の「いっぽ」からあいさつが始まっています。



### ★ 静岡県自転車条例の周知について

既にご存じの方も多いかと思いますが、10月1日から自転車利用者への自転車損害賠償保険等の加入義務化が施行されました。小学生も含め自転車に乗る人全てが対象です。万が一の加害事故に備えて、ご家族で確認してください。本日、別紙ちらしも配付しますので、参考になさってください。